

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティ・オブ・ライフ子育て支援教室				公表日	2026年4月1日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	100%	小さい子と大きい子で部屋を分けて活動を行うように工夫をしています。 カリキュラムでは外遊びや散歩を積極的に取り入れるようにしたり、運動遊びを取り入れて対応しています。 子ども同士のトラブルは職員間で共有し、事前に防げるような動き方ができるようにしています。	・利用者数によってスペースが狭いと感じることがある。 ・運動する場が少ない ・人数が多いと密集して利用者同士が近くなりトラブルに発展しやすい。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	56%	44%	職員間でのコミュニケーションを密に図り、その日の出勤人数を調整しています。	小さい子供が多い事やマンツーマンで付かなければならない子どもがいる為、職員が足りないと感じることがある。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	56%	44%	トイレや活動の部屋の危険箇所にはクッションを貼ったり、安全に配慮しています。玄関スロープは改善が必要なので時期をみてリフォームを検討しています。	・トイレが入りにくいため工夫が必要。 ・玄関のスロープがあるが、危険を感じることがある。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	人数が多い時には部屋を分けて活動に集中できるようにしています。 消毒、空気清浄、換気は徹底して行なっています。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	44%	56%	部屋数はあるため、対応できる時には、事務室や相談室などで個別学習を行うように工夫しています。	部屋が少ないため個別の場所を確保することが難しい。先生の人数にもより対応が難しい時がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	業務改善を進めるために職員間のコミュニケーションを多くとる時間を設けています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者アンケートは職員が閲覧できるようにしています。また、内容に関しても必要に応じて話し合いを行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々コミュニケーションをとりながら、職員の意見を大事にしています。出来ることから実現に向けて取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	第三者による外部評価は現在行っていないが、業務改善に関しては日々職員が話し合いを行っています。	第三者委員会の設置	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	当日参加が難しい職員には、後日動画視聴や教室で再度研修を行い全職員が研修に参加できるよう取り組んでいます。	全職員均一に研修を行なえるようにしたい	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	毎月カリキュラムを作成し、保護者様に公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	定期的な支援会議や保護者面談などを通して様々な意見や考え方を取り入れ分析し、計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	定期的な支援会議だけでなくモニタリングを職員に割り振り、出来るだけ多くの職員からみられた子供たちの姿を計画に取り入れられるよう工夫をしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画書は全職員が閲覧できるようにし、定期的な支援会議の場で最新の目標等を確認しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	HUGのアプリ内で標準化されたツールを使用し作成し、日々確認できるようにしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	計画書に項目別に記載をしており、こちらもHUGアプリのツールを使用し、抜け漏れのないようにしっかりと確認をしながら作成をしています。また、それぞれのこどもの支援に沿った内容にしています。		

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	職員同士でカリキュラムの案を出し合い、プログラムが充実するように工夫をしています。お家ではできないことも活動に取り入れるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	都度支援会議を行い見直しを検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	89%	11%	個々の個別活動については、今日はこれをする決めて個別の課題に取り組むようになっている。	プランに沿っての個別の支援は職員の手が足りず難しい時がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝ミーティングをして日々の様子や支援内容を確認しています。その他、支援の疑問点などは都度話し合いを行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	支援後には全職員にその日の支援の様子を伝達し、翌日の支援に活かせるように報告をしています。	時間の確保が難しい。文章での共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援は個別に記録をとり、いつでも確認できるよう保存されています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年に1度モニタリング評価が行われていますが、3か月に1度、担当職員のモニタリングを自主的におこない、現状のこどもの状況と支援内容にずれがないか見直しをしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談員さんや利用している他事業所の職員さんに必要な会議に出席していただいています。こちらでも要請があった場合には他事業所に伺い会議参加をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	関係機関とは連絡を取り合うなど連携して支援ができる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	保育園との併用を促し、併用する形で支援も行なっています。その場合には保育園やこども園と情報共有をし、必要であれば個別支援計画の内容も開示しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学時には支援学校の先生が教室に来訪し、入学前に情報共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	児童発達センターからの問い合わせや、そちらに通われていて、今後のために利用したいという方はいらっしゃると思いますが、連携はとれていません。今後、助言等を受ける機会を設けていけるよう検討していきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	保育園併用のお子様の保育所と連携をしているが、保育園との直接的な交流の場がなかなかないため今後検討していきたいです。	積極的な周辺の保育園などとの交流が課題
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日頃から状況を細かくお伝えしています。課題についてはお伝えしきれっていない部分もあるので今後しっかりと課題にも共通理解を持っていけるよう取り組んでいきたいと思っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	家族向けの研修など現在行っていないため、今後取り入れられるよう検討していきたいと思っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に細かく説明ができるよう、保護者様には契約時にお時間を長くいただき説明をしています。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	面談等で話を聞いたり、お迎え時の情報を記録して計画作成時に反映させるようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画を見ながら説明をする時間を設けています。その際に保護者様の意向を取り入れて変更が必要な場合には変更をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的な面談を実施しています。その際に子育ての悩みなどをお聞きすることがあります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	保護者会ではなるべく保護者同士の交流ができる時間を設けています。兄弟同士の交流の場はなかなかないので今後検討していきたいと思っています。	兄弟同士での交流を行う機会が少ないので今後取り入れていく必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	相談があった場合にはすぐに話ができるようにしています。また、必要に応じて職員間の情報共有を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎日の連絡はアプリを活用して行なっています。SNSでの配信が少ないため今後は今以上に発信していけるよう、職員で話し合いをしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報に関しては職員が管理している鍵付きの棚で保管しています。十分に留意し保管をしております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	89%	11%	保護者様とお話するなかで、教室とご自宅での意思の疎通などの方法を情報共有している。また、場面ごとに写真や絵カードを用いて行なっています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	事業所での行事は地域住民の方にも知っていただけるようHPへ掲載をしたりSNS等での情報発信をしています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルは玄関に置き、安全計画等にも載せて周知しています。また訓練等も定期的に行なっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	法人全体でのBCP委員会に所属し、情報を更新するとともに、定期手に避難訓練を行なっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用開始前に、細かな情報は保護者様と面談をして確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーのお子様には医師が記入するアレルギー疾患生活管理指導書の提出をお願いしています。十分に配慮して対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画は年に1度見直しを行い、研修や訓練の計画を記載し、安全管理をした上で支援を行なっています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画は玄関の掲示スペースに掲示されています。内容まで保護者様が確認されていることはなかなかありませんが、定期的な避難訓練なども安全計画の一部です。また施設点検についても記載されています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットは全員が閲覧できるようファイリングをして保管しています。またヒヤリハットがあった場合には朝のミーティング等で周知をして事故につながらないように注意をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修を定期的に行い、虐待に対する共通意識を職員が持てるようにしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	切迫性・非代替性・一時性の条件が揃っているときにのみ身体拘束を行う場合があること、またその場合には記録に残し保護者様にお伝えすることを契約時に同意書を用いて説明を行なっています。また個別支援計画書の確認をいただく際にも再度お伝えしながら説明をしています。	